

平成 20 年 11 月 7 日

各 位

大阪府中央区瓦町三丁目 5 番 7 号  
株式会社アドバンスクリエイト  
代表取締役社長 濱田 佳治  
(コード番号 8798)  
(連絡先) 取締役常務執行役員経営管理本部長 村上 浩一  
電話 06-6204-1193

業績予想ならびに配当予想の修正及び繰延税金資産取崩しに関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 8 月 20 日の決算発表時に公表した平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日 ～ 平成 20 年 9 月 30 日）の業績予想ならびに平成 20 年 9 月期配当予想を下記のとおり修正し、あわせて、繰延税金資産の取崩しを行うことといたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 20 年 9 月期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 10 月 1 日 ～ 平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,000	700	500	150	円 銭 1,356.26
今 回 修 正 予 想 (B)	6,689	123	△40	△578	△5,227.38
増 減 額 (B-A)	△311	△577	△540	△728	—
増 減 率 (%)	△4.4	△82.4	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	8,547	862	642	184	1,636.22

2 平成 20 年 9 月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年 10 月 1 日 ～ 平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,500	800	600	250	円 銭 2,260.43
今 回 修 正 予 想 (B)	6,403	221	61	△476	△4,309.87
増 減 額 (B-A)	△97	△579	△539	△726	—
増 減 率 (%)	△1.4	△72.3	△89.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	8,029	789	600	238	2,120.73

### 3 業績修正の理由

売上高につきましては、連結、単体ともやや下振れいたしました。ほぼ予想通りとなる見込みであります。収益面につきましては、第4四半期の業績で第3四半期までの収益面の遅れを取り戻せることを見込んでおりましたが、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱の拡大による景気の減速懸念等から、個人保険部門におきましては、8月後半からの例年のトレンドに反して、保険申込が件数、金額共に大きく落ち込み、9月前半まで見込みから大きく乖離してしまいました。併せて保険料単価も予想より下振れし、第3四半期までの遅れを回復できると言う当初の見込み通りの収益は確保できませんでした。幸いなことに、9月の終盤からは、徐々に資料請求件数、保険申込共にほぼ標準的な水準まで戻ってまいりましたが、それらの申込による収益貢献は、来期以降となります。法人保険部門におきましても、9月に見込んでおりました大型の法人保険の案件数件が同じく景況感の急激な減速懸念から申込延期となりました。

結果、営業利益は、連結で123百万円、単体で221百万円となる見込みであります。経常利益は、連結で40百万円の損失、単体では61百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、今後の景況感を鑑み収益計画を保守的に見積もりました結果、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額を計上し連結で、578百万円の損失、単体で476百万円の損失となる見込みであります。

### 4 平成20年9月期配当予想の修正

#### (1) 期末配当予想の修正

	中間期	期末	年間
前回予想（平成20年8月20日）		1,500円	1,500円
今回修正予想	—	0円	0円
（ご参考）前期の1株当たり配当金実績	—	1,500円	1,500円

#### (2) 期末配当予想修正の理由

当社は株主の皆様へ継続的かつ安定した配当を行うことを基本方針といたしております。しかしながら、引き続き厳しい外部環境であることに加え、上記のとおり繰延税金資産等を保守的に見積もりましたこと等による通期業績予想の修正に鑑み、当事業年度においては十分な剰余金を確保できないと判断し、期末配当につきましては誠に遺憾ながら見送りさせていただく予定であります。株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、来期におきましては、早期復配に向けて鋭意努力いたす所存でございますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 5 繰延税金資産取崩しについて

当社が計上しておりました繰延税金資産の回収可能性について、財務の健全性の観点から慎重に検討し、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額（費用）に連結で80百万円、単体で60百万円を計上いたします。

## 6 今後について

上記の通り、平成20年9月期第4四半期の業績につきましては当初見込みからは乖離いたしました  
が、各月の収益状況は大きく改善し、毎月安定的に収益を確保出来ております。結果、平成21年9月  
期におきましては、通期を通して単月の収益確保を見込んでおり、当然四半期ごとの最終利益も十分  
に確保できると見込んでおります。つきましては、四半期ごとの収益に加えまして、剰余金の確保に  
努めることにより、第1四半期からの復配を目指したいと考えております。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与  
える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提にしています。実際の業  
績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上